

ビーチサイドホテルからのシッフウォッチング

2021-10-9 池田良穂

5年ぶりに開催された那覇港管理組合の長期構想委員会に出席する機会に、那覇に1泊だけ泊まりました。宿は、ビーチサイドホテルで、ベランダからは那覇港に入港するほぼすべての船を見ることのできるお気に入りのホテルです。コロナ禍のせいか客数も少なく、料金も驚くほど安くなっていました。

関西国際空港から那覇への全日空便は、1日1往復に削減されていて、しかも機内はがらがらの状態でした。

那覇に到着してパシフィックホテルで開催された那覇港長期構想検討委員会に出席しました。たくさんの計画について議論しましたが、クルーズ関係では3つ目のクルーズ専用バースの建設が浦添区域に盛り込まれていて実現することになりそうです。現在、2つ目のバースが新港のコンテナ埠頭の北側に建設中です。

さて、この委員会が終了して那覇ビーチサイドホテルにチェックイン。それまでは激しい雨が降っていましたが、一転して青空も覗き始めました。部屋は7階の見晴らしの良い部屋で、まだ日没まで少し時間があり、大東島への「だいとう」の出港、久米島からの「フェリー琉球」、座間味島からの「クイーンざまみ3」の入港などを見ることができました。ホテルには夕食のとれるレストランがないのが玉に瑕ですが、ぶらぶらと歩いて波之上宮の近くのお寿司屋さんで夕食をとりました。

翌朝は6時からスタンバイ。まず7時に

出港する鹿児島航路の「フェリー波之上」を見送ると、10時のチェックアウトまで、次から次へと出港船、入港船が目の前を通過していきました。

チェックアウト後に、うみそら公園から出港する座間味、渡嘉敷、慶良間島への3隻のカーフェリーを撮影すると一段落。那覇港は静けさを取り戻しました。空港に移動する前に那覇本港の岸壁を訪れると、2隻の遊覧船、2隻のダイビングボート、そして予備船となった高速旅客船「たくま2」が繋がっていました。



チェックインするとちょうど大東島へ貨客船「だいとう」が出港していくのが見えました。



久米島から「フェリー琉球」が戻ってきました。



新港に泊まる RORO 船「琉球エクスプレス 5」と「しゅり」の前を、高速旅客船「クイーンざまみ 3」が通過して、泊埠頭へと向かいました。



沖合に大型コンテナ船 ANL Grippsland が停泊していました。てつきり APL だと思っていたら、よく見ると ANL でした。オーストラリアのコンテナ会社で、CGM 等のアライアンスに入っています。

10月8日



那覇本港から出港するマルエーフェリーの「フェリー波之上」です。背景には那覇空港の飛行機が見えます。



沖合に錨泊するコンテナ船の後ろから RORO 貨物船「琉球エクスプレス2」と「みやらびⅡ」が那覇港入口を目指して疾走してきました。



港外から港口に向かう「琉球エクスプレス 2」と、泊埠頭を出て那覇港内を港口に向かう本部航路の「たくま3」が一緒のファインダーに入りました。



那覇港に入港する「琉球エクスプレス」です。港に入ると大きく左に回頭して、新港のバースに向かいます。



続いて琉球海運の RORO 貨物船「みやらびⅡ」が入港してきました。



内航コンテナ船「はりみず」が入港してきました。



南からやってきた琉球海運の「あやはし」。いつもは、博多航路に就航していますが、この日は南から姿を現わしました。



9 時には「マリンライナーとかしき」が泊埠頭を出てきました。



続いて「クイーンざまみ 3」が出港して行きました。



久米島航路の「フェリー琉球」が出港して行きました。



10 時前後に「フェリーニューあぐに」「フェリーとかしき」「フェリーざまみ 3」が続いて出港して行きます。ホテルをチェックアウトして、うみそら公園から撮影しました。



那覇埠頭船客待合所ビルからは、奄美・鹿児島航路のカーフェリーが毎朝 7 時に出港して、毎晩 19 時に入港します。11 月 21 日に学会主催で「クイーンコーラルクロス」の乗船会でも、筆者は、ここから乗船して与論島に渡り、「クイーンコーラルクロス」で戻ってくる予定です。



那覇埠頭に停泊するレストラン船「モビーディック」です。



モビーデッキの全景を明治橋の上から撮影できました。



4胴の水中観光船「オルカ」も那覇埠頭からです。



ダイビング船「NEWS 1」です。



那覇埠頭の対岸の米軍基地には高速輸送艦ブランスウィックが停泊していました。オースタル建造のアルミ高速船です。



那覇埠頭の岸壁には、遊覧船、ダイビング船に混じって那覇～本部航路の予備船の「たくま 2」が係留されていました。